各　位

平成19年2月26日

会　社　名　　株式会社　福岡銀行
代　表　者　　取締役頭取　谷　正明
本社所在地　　福岡市中央区天神二丁目13番1号
（コード番号　8326　東証第一部、大証第一部、福証）
問 合 せ 先　　総合企画部長　吉田　泰彦
（TEL.092-723-2622）
会　社　名　　株式会社　熊本ファミリー銀行
代　表　者　　取締役頭取　河口　和幸
本社所在地　　熊本市水前寺六丁目29番20号
（コード番号　8553　福証）
問 合 せ 先　　経営管理部長　黒瀬　英夫
（TEL.096-385-1116）

ふくおかフィナンシャルグループ「第一次中期経営計画」の策定について

福岡銀行（取締役頭取 谷 正明）と熊本ファミリー銀行（取締役頭取 河口 和幸）は、平成19年4月2日に設立予定の持株会社「ふくおかフィナンシャルグループ」（FFG）の「第一次中期経営計画」（期間2年：2007年4月2日～2009年3月31日）を策定しましたので、その概要をお知らせします。

本計画を基に、両行の特徴を最大限に活かした戦略・施策を展開し、統合シナジーを実現することで、全てのステークホルダーに対し、価値創造を提供する金融グループを目指してまいります。

1.グループ経営理念

ＦＦＧは、福岡銀行および熊本ファミリー銀行と統一的な新しいグループ経営理念を共有し、日常における企業活動ならびに地域貢献活動を展開してまいります。

ふくおかフィナンシャルグループは、
高い感受性と失敗を恐れない行動力を持ち
未来志向で高品質を追求し
人々の最良な選択を後押しする
すべてのステークホルダーに対し、価値創造を提供する金融グループを目指します。

2.ＦＦＧが目指す将来像

ＦＦＧは、福岡銀行をコアバンクとして、高度で良質な金融商品・サービスを提供するとともに、福岡県・熊本県を核にした「広域展開」により顧客基盤を拡大し、地域社会への貢献、企業価値の持続的成長を目指してまいります。

		第一次中計最終年度（20年度）	将来像（5年以内）
収益力	両行合算コア業務純益	880億円	1，200億円以上
	FFG連結当期純利益	420億円	600億円以上
	ROE	8%	10%以上
健全性	不良債権比率	1%台	1%未満
	格付	AA格取得	AA以上
市場評価	時価総額	8，000億円	1兆円以上
規模	総資産	10兆円	12兆円以上

3.ＦＦＧ「第一次中期経営計画」の基本方針

ＦＦＧ「第一次中期経営計画」は、グループガバナンス体制を確立し、両行営業戦略の融合により顧客基盤を拡大するとともに、事務・ITの共通化及び人財の融和のもたらすメリットを追求することにより、統合シナジー効果を早期に最大化することを基本方針といたします。

【基本方針】
- **統合シナジー効果の早期実現と最大化**
- **グループ一体の経営管理体制の構築**
- **両行の人財･企業カルチャーの融和**

4.実施期間

期間：2年間　2007年4月2日～2009年3月31日（平成19年4月2日～平成21年3月31日）

5.戦略体系と施策戦術の概要

ＦＦＧ「第一次中期経営計画」の戦略体系は、営業戦略、リスクマネジメント戦略、事務戦略、IT戦略、人財戦略、クオリティ戦略の６つの戦略で構成します。

営業戦略では、福岡銀行が持つ商品・マーケティング力をグループでフルに活用しながら、熊本ファミリー銀行のリテール営業の強みをさらに伸ばし、「広域戦略」を展開します。

リスクマネジメント戦略では、両行のリスク管理水準を高度化させ、グループリスク管理態勢を構築します。事務戦略では、両行の事務スキームを統一し、グループで事務効率化を実現させてまいります。IT戦略では、両行のシステムを統合し、競争力あるIT基盤を構築いたします。人財戦略では、グループ人員の戦略的配置を行い、営業戦力強化を図ります。クオリティ戦略では、新たなFFG経営理念の基、グループブランドを構築し、一体感を醸成するとともに、コンプライアンスをグループ最重要課題と位置づけ厳格な態勢で臨みます。

戦略体系		施策･戦術の概要
営業戦略	法人営業戦略 個人営業戦略	**･両行の強みを活かした営業戦略を展開** 福岡銀行）フルラインアップの法人営業を展開 個人営業のビジネスモデル構築 熊本ﾌｧﾐﾘｰ）熊本県内リテール部門へのフォーカス戦略
営業戦略	市場営業戦略	**･グループ有価証券ポートフォリオ構築** ･収益源の多様化と収益の安定性を実現
リスクマネジメント戦略		**･グループリスク管理態勢構築**、バーゼルⅡ対応 ･不良債権処理と事業再生の同時実現
事務戦略		･両行事務スキームの統一 **･グループ事務効率化の実現**（共同アウトソーシング等）
IT戦略		**･競争力あるグループIT基盤の構築** ･システム統合の実現
人財戦略		**･グループ人員の戦略的配置** ･グループ人財育成、営業戦力増強
クオリティ戦略		**･グループ一体感の醸成**（グループ経営理念･ブランド） ･グループコンプライアンス体制の構築

6.目標とする経営指標

ＦＦＧ「第一次中期経営計画」最終年度（20年度）における、目標とする経営指標は、「連結当期純利益」「連結不良債権比率」「連結ROE」の３指標とします。

目標とする３指標以外の指標「連結自己資本比率」「連結Tier Ⅰ比率」「外部格付」は、「第一次中期経営計画」のシナリオを前提に次のような水準を見込んでおります。

中計最終年度（平成20年度）

		金利横這シナリオ	金利上昇シナリオ
目標指標	連結当期純利益	420億円	460億円
	連結不良債権比率	1%台	
	連結ＲＯＥ	8.0%	8.5%
その他の指標	連結自己資本比率	10%	
	連結Tier Ⅰ比率	8%	
	外部格付	AA格取得	

参考：２行単純合算（平成20年度）

		2行合算	福岡銀行	熊本ファミリー銀行
金利横這	コア業務純益	880億円	730億円	150億円
	当期純利益	470億円	380億円	90億円
金利上昇	コア業務純益	950億円	790億円	160億円
	当期純利益	515億円	415億円	100億円

＊前提条件（金利シナリオ）

金利横這い：O/N金利0.50%、1年TIBOR0.85%、10年SWAP2.0%

金利上昇　：O/N金利0.50%～1.0%、1年TIBOR1%～1.50%、10年SWAP2.10%～2.60%

7.配当方針

ＦＦＧはすべてのステークホルダーに対し、価値創造を提供する金融グループを目指すとともに、株主の皆様のご期待にお応えするために、業績連動型の配当方式を設定し、2008年3月期以降において、連結当期純利益の水準に応じて配当金をお支払いする方針といたします。

連結当期純利益水準	1株あたり配当金目安
～250億円以下	年間　7円～
250億円超～300億円以下	年間　8円～
300億円超～350億円以下	年間　9円～
350億円超～400億円以下	年間　10円～
400億円超～450億円以下	年間　11円～
450億円超～	年間　12円～

但し、事業展開やリスク環境等により変更することがあります。

8.子銀行の中期経営計画

ＦＦＧ「第一次中期経営計画」の策定に合わせ、福岡銀行は現中期経営計画の目標指標の修正、及び熊本ファミリー銀行の新しい中期経営計画を策定しました。

両子銀行は、ＦＦＧグループ中計の基、各々の強みを活かした営業戦略の展開と、グループ力を活用した高度な金融サービスを提供するとともに、サービス品質の向上を図ることで、福岡・熊本両県での顧客基盤を拡大してまいります。

(1) 福岡銀行の中期経営計画

ア.中期経営計画の概要

①ネーミング・計画期間
「中期経営計画2007」 期間：2007年4月～2009年3月（2年間）
②目指す銀行像
「期待を超える銀行」
③基本方針
「知と行動の総力展開」

④目標指標	金利横這	金利上昇
コア業務純益	730億円	790億円
当期純利益	380億円	415億円
不良債権比率	1%台	
OHR	50%未満	47%
中小企業等向貸出金残高	4兆円	
福岡県内貸出金シェア	30%	

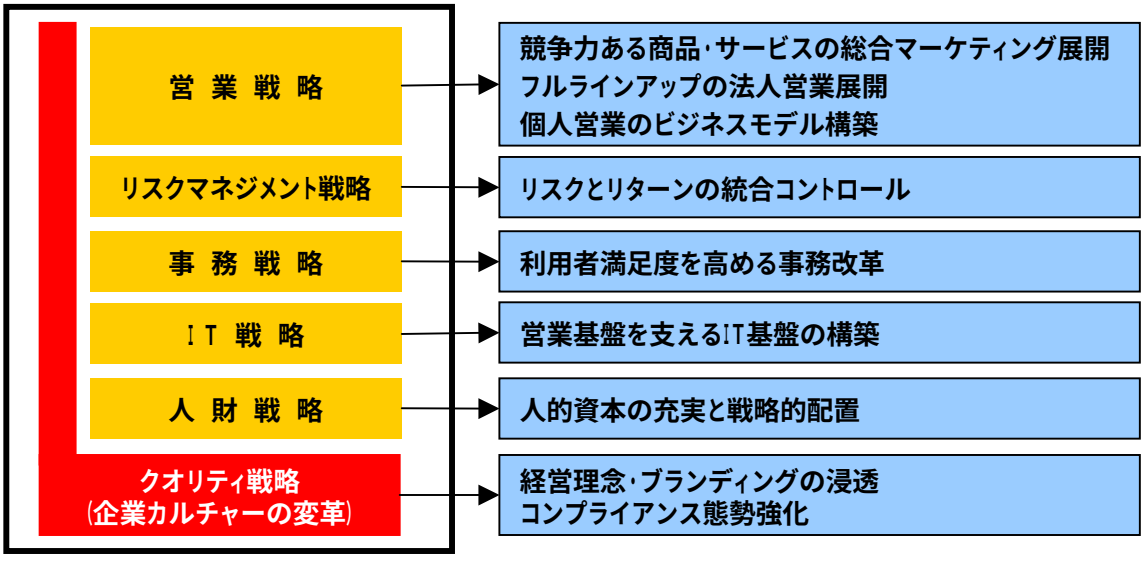
イ.戦略・施策体系

福岡銀行の中期経営計画は、“サービス品質の向上”を“顧客基盤の拡大”に繋げる中計とし、県内シェア30%の達成に向けた戦略・施策を実施してまいります。

営業戦略では、競争力ある商品・マーケティング力を活用したフルラインアップの法人営業展開、クロスセルを核とした個人営業のビジネスモデル構築に取り組みます。

リスクマネジメント戦略では、リスクとリターンの統合コントロール体制を構築します。事務戦略では利用者満足度を高める事務改革を実施し、IT戦略では、営業基盤を支えるIT基盤を構築してまいります。人財戦略では、研修施設を充実させ研修体系を再構築し人的資本の充実と戦略的配置を実施します。クオリティ戦略ではグループ経営理念・ブランディングの浸透による企業カルチャーの変革に加え、コンプライアンス態勢の強化に取り組みます。

⑤戦略・施策体系



(2) 熊本ファミリー銀行の中期経営計画

ア.中期経営計画の概要

①ネーミング・計画期間
「中期経営計画2007」 期間：2007年4月～2009年3月（2年間）
②目指す銀行像
「地域になくてはならない銀行」
③基本方針
「攻めの経営・規律ある経営」

④目標指標	金利横這	金利上昇
コア業務純益	150億円	160億円
当期純利益	90億円	100億円
不良債権比率	3%台	
OHR	55%	53%
中小企業等向貸出金残高	1兆1,000億円	
預金残高	1兆3,000億円	
資産運用商品販売額	年間1,000億円（20年度）	

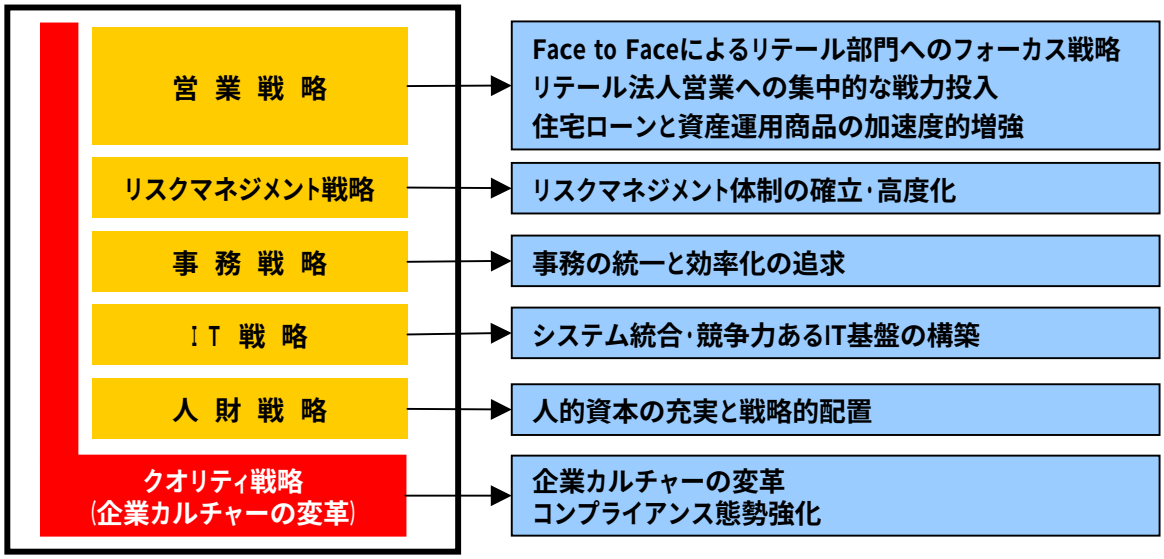
イ.戦略・施策体系

熊本ファミリー銀行の中期経営計画は、福岡銀行との営業戦略の融合と営業ネットワーク拡大による顧客基盤の拡大、事務・システムの共通化による効率化の追求、リスク管理体制の高度化等に取り組みます。

営業戦略では、熊本ファミリー銀行の強みであるFace to Faceでのリテール営業を一層強化し、熊本県内のリテール営業に重点を置いた施策を展開してまいります。

リスクマネジメント戦略では、リスク管理の高度化とリスクマネジメント体制を構築してまいります。事務戦略・IT戦略では、福岡銀行と事務の統一化やシステム統合を実現し効率化を図ります。人財戦略では、グループで人財育成に取り組み人的資本の充実と戦略的配置を実施します。クオリティ戦略ではグループ経営理念・ブランディングの浸透による企業カルチャーの変革に加え、コンプライアンス態勢の強化に取り組みます。

⑤戦略・施策体系



以　上

本件に関するご照会は下記までお願いいたします。
福岡銀行総合企画部（牛島・廣田）
電話　092-723-2622
熊本ファミリー銀行経営管理部（西山・田中）
電話　096-385-1116

(参考) グループブランド

ふくおかフィナンシャルグループを表象するシンボルマークおよびロゴタイプを次のとおり制定いたします。

グループシンボルマーク･ロゴタイプ

シンボルマーク

- シンボルマークに込めたメッセージは、『つながり＝リング（輪）』です。
  地域を結び、人と人、企業と企業を結ぶ存在でありたいとの思いを躍動感あるリングで表しています。
- 青い色は、九州の誇る『鮮やかな海、空』を表し、県境も組織の枠も超えて、地域を愛する気持ちを表しました。

ロゴタイプ

ふくおかフィナンシャルグループ
Fukuoka Financial Group

あなたのいちばんに。
FFG ふくおかフィナンシャルグループ

グループブランド戦略

ふくおかフィナンシャルグループ〔FFG〕は、グループ経営理念を共通の価値観として行動し、お客様、株主の皆様、地域社会、そして従業員にとって〔FFG〕が真に価値ある存在であり続けるための約束として、『コアバリュー』を表明し、ブランドスローガン『あなたのいちばんに。』を展開していきます。

コアバリュー･ブランドスローガン

Core Value

いちばん身近な
いちばん頼れる
いちばん先を行く

ふくおかフィナンシャルグループは、
- 豊富な知識と情報を活かし、
- お客さまのために親身に心から傾聴、対話、そして協業し、
- 品格とユーモアを持って期待を超える提案を続けてまいります。

ブランドスローガンは、『コアバリュー』を一言に凝縮した〔FFG〕の想いです。

ブランドスローガン
あなたのいちばんに。

キービジュアル